

## 働くということ

校長 川村 尚史

新潟県では、児童生徒の夢や進路をかなえるため、自分の将来を設計し、自立して生きる力を育むとともに、進路や職業、地域への理解を深めることを目指した「キャリア教育」を推進しています。当校でも、各教科や総合的な学習の時間等において、地域の方と交流したり、様々な職業について学んだりする活動を通して、郷土愛、人間関係形成能力、キャリアプランニング能力等の育成を図っています。

先日「学研ホールディングス」が発表した「小学生白書」に、「将来なりたい職業ランキング（2019年版）」が紹介されていました。結果は次の表のとおりです。

将来なりたい職業ランキング（2019年版）

	男子	女子
1位	YouTuber	パティシエ
2位	プロサッカー選手	保育士・幼稚園の先生
3位	プロ野球選手	看護師
4位	運転士	医師
5位	警察官	花屋

注目すべきは男子1位の YouTuber です。別の企業が行った同様のアンケートでも上位にランキングされていることから、今の子どもたちにとって憧れの職業であることは間違いありません。以前、当校の6年生に将来の夢を尋ねたときも、YouTuber と答える子どもが何人かいました。「好きなことをやってお金を稼げる」「高収入が夢ではない」「有名になれる」「資格がいらない」等が理由のようです。

動画を投稿することは誰にでもできます。しかし、それで収入を得るには、「チャンネル登録者数が1000人を超える」等の条件をクリアしなければならないそうです。仮に、その条件を満たしても、収入は1再生当たり0.1円程度と言われているので、生活できるだけの収入を得るためには、動画をコンスタントに投稿したり、動画の質を高めたりして、多くの人に再生してもらわなければなりません。それには膨大な時間と、企画力、表現力、撮影技術等、様々な力が必要となります。つまり、決して楽をしてお金を稼げる訳ではないのです。それを承知のうえで、本気で YouTuber を目指すというのならば、素敵な夢として、心から応援したいと思います。

こうしたことは どの職業にも言えます。その職業の華やかな部分、魅力的な部分だけに目を向けるのではなく、どんな能力や資格が必要なのか、どんな苦労やリスクがあるのかを理解することが、現実的なキャリアプランニングにつながると考えます。子どもたちが「夢や進路をかなえるために、今頑張らなければならないことは何か」を考え、コツコツと努力していけるよう、発達段階に応じた指導、支援を進めて参ります。

ご家庭でも、お子さんの将来について一緒に考える機会を設けていただき、お家の方からは、ご自身の経験を基に、働くことの意義、喜び、やりがい、厳しさ・・・などを伝えていただければありがたいです。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。